

(別紙4(2))

事業所名 グループホームじぶんち

作成日: 平成 31年 2月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 40 48	入居者一人ひとりのペースを尊重した生活が送れるように支援している。また、生活の中で、入居者の意向や「できること」に目を向け、家事活動や余暇活動への参加を促すような働きかけや「待つ」姿勢を大切にし、現状の「力」の維持に努めている。日々、変化されている入居者に合わせて、さらに家事活動や余暇活動の内容の幅を広げ、現存能力に合わせて、生活で役割や楽しみが持てるような支援をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none">「人」としての尊厳や「生活者」としての役割を尊重される支援をする。入居者が満足感や達成感を持つことができるような活動を支援していく。各入居者に合わせた内容や取り組み、参加方法を考え、新たに「できること」を引き出す工夫をする。各入居者に合わせた外出を考え、取り組む。食事作りやおやつ作りを充実させ、さらに「食」が楽しみなものになるように工夫をする。	<ul style="list-style-type: none">入居者の意向や「言葉」をその都度メモに残し、新しい取り組みを考える材料にする。職員一人ひとりの関わり方の工夫や提案を記入できる用紙を作り、共有する。全職員が家事活動や余暇活動を働きかけられるように、担当を決め、内容や備品、やり方などを一覧表にする。外出計画を月ごとに作成する。入居者が参加しやすいメニューを計画する。おやつ作りの日を決めて、午後の余暇活動として取り組む。	12 ヶ月
2	39	日々の職員の声かけや関わりを通して、食後の入居者自身の口腔ケアへの意識が高まっている。さらに、入居者自身の整容への意識を高めるためにも、入居者の整容に対する職員の「気づき」を高めていきたい。	<ul style="list-style-type: none">入居者が毎日、清潔で気持ちよく過ごすための支援を行う。入居者自身が、自分の身だしなみに意識を向け、取り組むことができるような関わり方を工夫する。	<ul style="list-style-type: none">身だしなみチェック表の目的や表記方法を見直す。必要な身だしなみセットを各入居者と話し合って作る。入居者と職員が使用しやすい保管方法等を考える。	12 ヶ月
3					12 ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。